

Ensemble

[ákka]

アンサンブル・アッカ 第17回定期公演

～ 没後25年 いま、ピアソラを問う ～



2017年 10月 9日 月 15:45 開場
祝 16:00 開演

広島市東区民文化センター スタジオ 1

トークセッション

15時15分～15時45分

※トークセッションは入場無料です

program

リベルタンゴ、エル・デスバンデ、大草原の夕暮れ、プレパレンセ
さよならパリ、アディオス・ノニーノ、天使のミロンガ、フーガ 9
エスクアロ、オブリビオン、タンゴ組曲より、現実への三分間

(都合により曲目は変更する場合がございます、ご了承ください。)

【チケット料金】

一般	2,000円(当日2,500円)
中・高校生	1,000円(当日1,500円)
小学生	500円(当日800円)
ペア券	3,600円(前売のみ)
未就学児	入場無料

※中・高校生団体割引(10名以上、前売のみ) 各人900円
(アンサンブル・アッカ事務局へ直接お申し込みください)

【チケット取扱い】

■広島市東区民文化センター ■カワイ広島 ■広島アーツ楽器

【お問い合わせ】

- アンサンブル・アッカ事務局 (広島大学内 徳永研究室) Tel 090-9764-1842 Fax 082-424-5248
E-mail: akka@ensemble-h.jp
- 広島市東区民文化センター Tel 082-264-5551 (月曜休館、祝日の場合は開館)
E-mail: higashi-cs@cf.city.hiroshima.jp

主催: Ensemble H[ákka] 広島市東区民文化センター

後援: 広島市教育委員会、中国新聞社、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送

ちゅピCOMひろしま、FMちゅーピー 76.6MHz、日本現代音楽協会、広島大学大学院教育学研究科音楽文化教育学講座

東区民文化センター
舞台芸術促進事業
提携芸術団体企画



Ensemble [ákka]

【アンサンブル・アッカについて】

Ensemble H[ákka](アンサンブル・アッカ)は、モダンアートを通じて、演奏会の新しい形態や、観客とのコミュニケーション、さらには音楽そのものについての根源的な問いかけをしていこうと、2000年に結成された団体です。芸術顧問の作曲家、久留智之を中心に、地域で活躍する意欲と才能のある若手作曲家、演奏家と、それを側面からフォローするスタッフメンバーによって企画、運営しています。「アッカ」とは、アルファベットHをラテン語で発音したもので、『Hiroshimaから世界へ、【新しい息吹】を発信してゆきたい』という思いが込められています。

HP <http://www.ensemble-h.jp>

Facebook page <https://www.facebook.com/ensembleakka>

【Member】

久留智之 (Composer/Artistic adviser)

齊藤陽子 (Oboe) 賀川由美 (Clarinet) 山田美和 (Saxophone) 三島明子 (Trumpet) 正田律子 (Euphonium)

藤岡敬己 (Percussion) 宮崎真理子 (Violin) 藤井康生 (Guitar)

須藤千晶 (Piano) 堀江麻紀 (Piano) 岡本佳子 (Piano)

秋津智子 (Soprano) 徳永 崇 (Composer) 菊田健司 (Manager)

※徳武正和 (Guitar/Artistic adviser) ※賛助出演



これまでにギターを長野 文憲、福田 進一の両氏に師事。イタリアのガルニャーノにてオスカー ギリア氏のマスタークラスを受講。古楽の演奏解釈及び通奏低音を佐々木 政嗣(リュート)、宇田川 貞夫(ヴィオラ・ダ・ガンバ)、永田 平八(リュート)、今村 泰典(リュート)各氏に学ぶ。読売新聞社主催日本ギターコンクール、九州ギター音楽コンクール優勝、東京国際ギターコンクール第3位入賞など多数のコンクールに上位入賞を果たす。1996年モダンタンゴ五重奏団を結成。アストル・ピアソラの音楽を中心に演奏し、主に西日本で活動する。1998年中国電力主催「エネルギー ドリームコンサート」にて飯森 宣親氏の指揮による広島交響楽団と共演。バンドネオンの小松 亮太氏が率いる五重奏団のメンバーとして韓国ツアーに参加。バンドネオン奏者 啼鵬氏とのデュオユニット「デュオ・フェルダ」のCD《タンティ・アンニ・プリマ》をリリース、好評を博す。現在、後進の指導にあたる傍らリュートなどの古楽器やウクレレやチャランゴなどの民族楽器も演奏し、ジャンルに囚われない幅広い音楽活動を展開している。

～ 没後25年 いま、ピアソラを問う ～

なぜいま、ピアソラなのか？既にクラシックをはじめ、様々な音楽シーンで作品が演奏され、世界的な音楽家として揺るぎない地位を獲得したピアソラ。モダン・ピースの中にエンターテインメント性を追究するアンサンブル・アッカとしても、いつかは腰を据えて対峙すべき存在でした。しかしそのためには、彼のバックグラウンドを深く読み解き、学ぶ必要がありました。メジャーな作品をアラカルトで披露するような演奏会は避けたかったのです。そしてピアソラの没後25年にあたる2017年、ピアソラ作品の演奏における第一人者・徳武正和氏との出会いにより、企画が一気に進展します。徳武氏には、公演のコンセプト、選曲、編成などへの助言はもちろんのこと、勉強会の講師、演奏指導、さらにはプレ・トークとギター・デュオでの出演もお願いしました。

本公演は、ピアソラの生涯と各時代ごとの特徴が見渡せる構成となっています。演奏機会の少ない演目も含まれ、ピアソラ・ファンにとっても貴重な機会となるでしょう。アッカの編成に合わせたオリジナル編曲が多いのも今回の特徴。バンドネオンは不在ですが、アクロバティックな妙技から泣かせるメロディーにいたるまで、アッカのメンバーが奮闘いたします。

秋の気配を感じる10月の昼下がり、ピアソラの世界に浸ってみませんか？ 皆様のご来場を心よりお待ちしております。

《会場アクセス》

広島市東区民文化センター (〒732-0055 広島市東区東蟹屋町 10-31)

- JR 広島駅新幹線口より徒歩東へ約 900 メートル
- 東区役所 / 区民文化センター前バス停下車道路向かい
- 愛宕町バス停下車 400 メートル
- 駐車場 40 台 ※ご来館にはできるだけ公共の交通機関をご利用ください。
- 交通機関のご案内

< 広電バス >

- ・県庁～府中線 (2-1～2-7 番表示)、東区役所前バス停下車
- ・広島駅(南口A4ホーム)～牛田早稲田線 (5 番表示)、東区役所前バス停下車

< 広島バス >

- ・紙屋町県庁前～戸坂東浄団地 (中山線 27 番表示)、愛宕町バス停下車
- ・広島バスセンター～上温品・小河原車庫 (深川線 29 番表示)、愛宕町バス停下車

